

第 30 回トライアスロンさぎしま大会
(三原市佐木島)

報 告

日 時：2019 年 8 月 18 日 (日)

スタート：10 時 00 分

参加者数：500 人

距 離：スタンダードディスタンス 53.5 km

結 果：総合 4 位 (年代別 1 位表彰)

総合タイム 2 時間 23 分 52 秒

スイム 1.5km 25 分 02 秒 (5) ・バイク 42km 1 時間 12 分 11 秒 (6) ・ラン 10km 46 分 40 秒 (7)

※ () 内はカテゴリー順位

毎年のことだが三原市の小さな島の大会なのに一年間で一番意識する大会と言っていい。酷暑の大会で有名だが、一瞬でも楽になろうとすればパフォーマンスが崩れそれ相当の結果になる。逆にあの踏ん張りがあったから気持ちが保てたという場面があればその形になる。

ふるさと三原市で私がトライアスロンを開始し、三原市職員として働く中でこの佐木島は 4 年間入りびたりで島民にかわいがってもらった。この島では地元の選手として若い自分の活躍が喜ばれ、ある意味小さな島のスターだった。期待に応えようと苦しんだ時期もあるが、今はこれが定めと頑張れる自分を貫く。

さて、この時期の 10 時スタートの灼熱の大会はスポーツ (運動) 能力は出せなくなるのが当たり前で、この苦しく耐えがたい環境のレースは本当に挑む勇気がなければスタートラインに立てない気がしている。今回はそれでもスタート時の天候は穏やかな暑さで昨年のように刺すような暑さではなかったように感じた。しかし、スイムでの激流のアクシデントなど例年にない状況は起こった。

トライアスロンは自然が相手でもあり自然と同化できるかどうかがかぎだ。波や風、そのコースの状況をよんでいく能力も必要なところも魅力だろう。それをよみ切れるアスリートが一步先へ出る。私はその辺りの能力はあるのだと思うし、レース中意識している。自然と仲良くなり能力を出させてもらう感覚だ。

今シーズンはバイクは経営者の支援もいただく方のアドバイスで機材の見直しと、パナレーサーからの最新タイヤを履かせてもらい、信頼を置けるメカニックの支援対応と、抜群の環境で乗せて頂いている。今回は昨年と比較すれば同じコースで 10 km (1 週) で 2 分の短縮はあり得ない形だが実現している。これは昨年術後の体で力がなくなっていたことを考慮しても喜びの形になりだした。

スイムを 5 位終了でバイク発進。バイク終了では 2 位と 1 分少々私にとっては僅差で 3 位。中盤に 2 位に浮上したが、暑さと疲労で身体は動いていない。踏ん張ろうとしていたが、結局後を追ってきた元気の良い若い選手に一人ずつ抜かれそこでの追い上げはならなかった。

総合 4 位のゴール・・・見せ場は作れても、勝負の面では落とした感があった。3 位入賞で多くの人をびっくりさせ喜んでもらいたかった。仕上げの悪さを反省するが、今はバイクの成長を感じ、スイムのトレーニング方法も違っていないこと、課題はランだとはっきりしたこと等、今後の取り組みを考えられる糧を得た。自分の中での山場のレースを終えて、これから後半戦を一気に駆け上がっていきたい。

毎年思うが、終わってホッとする大会・・・それでもまた挑戦していくのだろう。

◆ゲスト選手紹介

福元テツロー

本名：福元哲郎（ふくもと てつろう）

1972年6月23日 広島県三原市出身

【コメント】

私がトライアスロンへ初挑戦したのが1995年の第5回トライアスロンさぎしま大会でした。駆け出しのころ、強くなりたい速くなりたいと鷺島の方々と共に世界へ羽ばたけたのも、トライアスロンさぎしま大会があったからです。

私の中の宝物と言えるトライアスロンさぎしま大会が30歳を迎え、振り返ると三原市役所時代に鷺島の方々にかわいがられながら仕事のできたこの島の皆様への恩返しの間でもありました。私も47歳になりましたが30歳になったトライアスロンさぎしま大会と共に、多くのご尽力いただいた方々の想いととも今年も熱く戦わせていただこうと思います。

これからもこの大会が、多くのトライアスリートの原点としてあり続けてほしいと思います・・・感謝

【主な戦歴】

- ・2006ローザンヌ（スイス） 5位
- ・2007ハンブルグ（ドイツ） 5位
- ・2014エドモントン（カナダ） 60位
- ・2017ロンドン（イギリス） 5位



・ねぬまくま夢工房 取締役
 ・株式会社 八天堂 顧問
 ・サンデン株式会社 アドバイザー
 ・社会医療法人 祥和会 アドバイザー
 ・万田発祥株式会社 アドバイザー
 ・福山電業株式会社 アドバイザー
 ・アトミックランニングス アドバイザー



